

Advanced RAID モデル RAID 構成 (S13G・S13K のみ)

■RAID 構成と総ディスク容量 (目安)

フリーセクションで選択できる RAID 構成と実装スロット			ディスク種別による総ディスク容量 (目安 ホットスペアは除く)							
			1	2	3	4	SATA SSD 240GB (FC-1S2SD-001)	SATA SSD 480GB (FC-1S2SD-002)	SATA HDD 960GB (FC-1S2SD-003)	SATA HDD 4TB (FC-1S2HD-001)
RAID 構成/ ディスク台数	RAID 1	2 台	●	●			240GB	480GB	960GB	4TB
	RAID 1 + ホットスペア	2 台+1 台	●	●	☆		240GB	480GB	960GB	4TB
	RAID 5	3 台	●	●	●		480GB	960GB	1,920GB	8TB
	RAID 5 + ホットスペア	3 台+1 台	●	●	●	☆	480GB	960GB	1,920GB	8TB
	RAID 5	4 台	●	●	●	●	720GB	1,440GB	2,880GB	12TB
	RAID 6	4 台	●	●	●	●	480GB	960GB	1,920GB	8TB
	RAID 10	4 台	●	●	●	●	480GB	960GB	1,920GB	8TB

◎ホットスペアとは

RAID で構成された論理ドライブ配下のディスクドライブに障害が発生した場合に、代わりに使用できるように用意された予備のディスクドライブです。
ディスクドライブの障害を検出すると、障害を検出したディスクドライブを切り離し、ホットスペアを使用してリビルドを実行します。

■RAID レベルの特長

各 RAID レベルの特長は下表の通りです。

レベル	機能	冗長性	特 長
RAID 0 ※1	ストライピング	なし	データ読み書きが最も高速、容量が最大 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × 台数
RAID 1	ミラーリング	あり	ディスクドライブが 2 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量
RAID 5	データおよび冗長データのストライピング	あり	ディスクドライブが 3 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × (台数-1)
RAID 6	データおよび冗長データのストライピング	あり	ディスクドライブが 3 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × (台数-2)
RAID 10	RAID 1 のスパン	あり	ディスクドライブが 4 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × (台数÷2)

※1：フリーセクションでは選択できません。

※ご購入後に RAID 機能を追加/削除することはできません。